

「平成28年度 ふくしまから はじめよう。学力向上のための『つなぐ教育』推進事業」の推進地域の取組

拠点校名	石川町立石川中学校
推進協力校名	石川町立石川小学校、石川町立沢田小学校、石川町立野木沢小学校

== 児童生徒・学校・家庭・教師をつなぐ ==

取組の内容

石川町では、「いしかわ交流・連携事業」として、児童生徒をつなぎ、学校と家庭・地域社会をつなぎ、学校・教師をつなぎ、石川町を支える人材の育成に取り組んできました。本指定を受け、今までの事業内容を見直し、学術研究との連携を新たな視点に加え、新たな事業を展開しながら、さらに発展させてきました。ここでは、それらの内容を紹介いたします。

【「つなぐ教育」授業研究会】

① 小中連携授業研究会、小小連携授業研究会

小・中学校の教師、他の小学校の教師が一緒になって、1つの授業を構想し、『学び合い』の授業を実践しました。研究授業後の研究会では、タブレット端末を活用したグループワークにより、授業力の向上を目指し協議を深めました。さらに、町教育アドバイザーからの指導助言を得ながら、今後の研究の方向性を検討しました。



② 石川小学校・石川中学校研究公開

石川小・石川中の研究公開を2日間連続で実施し、県内外から計250名程度の参加がありました。石川小は国語と算数を全学年で、石川中は数学、英語、技術・家庭の授業を公開しました。タブレット端末を活用した事後研究会（分科会・全体会）を実施し、『学び合い』についての成果と課題を明らかにすることができました。

③ 石川町教育ゼミナール

夏休みの2日間、石川小学校のクリスタルホールを会場に、上越教育大学教職大学院と連携しながら教員研修を実施しました。全国から150名の教員が参加し、学力調査の分析、教育の最新情報講演会、上越教育大学教職大学院サテライト講座、授業づくり研修などにより教師の資質と能力を高める研修を行いました。



【「つなぐ教育」地域連携講演会】



石川町教育委員会、石川町教育研究会、石川町PTA連絡協議会の主催により、「メディアにむしばまれる子どもたち」～小児科医からのメッセージ～と題して、仙台医療センター小児科の田澤雄作先生の講演会を行いました。教職員80名、保護者30名の参加により、メディアと脳の関係、メディアコントロールの重要性についての講演を聞き、学校・教師と家庭・保護者の役割について認識をあらたにしました。

【「つなぐ教育」地域連携学習会】

① フライデーコネクション



石川町の小学校6年生全員が年5回、一堂に会して交流会や中学校の授業体験を実施し、連帯感を高めました。

② 英国文化体験教室



石川町の小学校6年生全員が、一泊二日で天栄村のブリティッシュ・ヒルズにおいて、語学研修を行いました。3小学校混合による班編成により友情を深めると同時に英語の重要性を確認することができました。

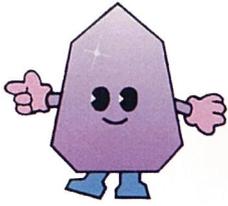
【「つなぐ教育」学習の手引き】

<p>家族と一緒に「メディアコントロール」 「いしかわのじかん」宣言</p> <p>いしかわのじかん（読書しよう） しずななじかん（算中しよう） かぞくのじかん（協力しよう） わたしのじかん（学力アップ!）</p> <p>取り組むべき取組</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 家族で話し合い、「いしかわのじかん」を決めよう。 2 具体的な取り組み内容を定めよう。 3 家族が協力する内容を定めよう。 4 取り組み内容を毎日記録させよう。 5 取り組み内容を学年によって少しずつ増やそう。 	<p>つなぐ教育 石川町の学習</p> <p>学び合いによる 【全員がわかる全員ができる】 授業の創造</p> <p>授業は、「全員がわかる・全員ができる」ことを目指します。</p> <p>「学び合い」の基本的な授業イメージ</p> <p>学習目標、課題の提示、学び合い、振り返り、学力定着</p>	<p>石川町 学習の手引き</p> <p>学校での学習(授業)の目的</p> <p>学校での学習(授業)は、あそびの手、そして授業のために必要な「学力」を身につけるために行われます。</p> <p>学校での学習(授業)のポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 全員がわかる、「全員ができる」ことを目標に授業に取り組みしよう。 ② 今日の学習の目標、課題、めあてと学習の方法を明確にしよう。 ③ 「しずなな」の学習をやめよう。 ④ 学校の授業を真剣にやめよう。 ⑤ 家庭学習ノートを用意し、授業の内容や感想をまとめる、問題を解いたりしたら、自分のノートをつくりよう。 	<p>家庭学習のすすめ</p> <p>家庭学習の目的</p> <p>みなさんの将来の夢をかなえるためには、「学力を身につける」ことが大切です。</p> <p>家庭学習のポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 家庭学習の目標を定めよう。 ② 学習する時間、教科、内容を定めよう。 ③ 「しずなな」の学習をやめよう。 ④ 学校の授業を真剣にやめよう。 ⑤ 家庭学習ノートを用意し、授業の内容や感想をまとめる、問題を解いたりしたら、自分のノートをつくりよう。
--	---	--	--

保護者や児童生徒に、石川町全小・中学校で実践している『学び合い』の考え方や授業スタイルの理解を促す「石川町の学習」「学習の手引き」や家庭学習の習慣化を図る『いしかわのじかん』宣言などのパンフレットを作成・配付し、協力を呼びかけました。学校・児童生徒・保護者が同一歩調で授業や家庭学習を考え、学力向上に向けての基盤が強固なものになりました。

成果と課題

- 「つなぐ教育」推進事業の実践により、学校間の連携、学校と学術研究・大学の連携、学校と保護者・地域の連携をさらに深め、町として共通認識を持って教育活動を実践することができました。
- 町全体で実践している『学び合い』の有効性を検証することができたと同時に、教師の研修意欲を高め、学校としての一体感を高めることができました。
- 学術研究と教育現場の往還を一層推進することにより、新学習指導要領への移行に向け、理論に支えられた研修を実践することができました。
- 『学び合い』や交流活動により、児童生徒の連帯感や集団意識を高め、不登校の減少やいじめの抑制につながりました。
- 『学び合い』により、児童生徒の学力が向上できるよう今後とも研修を深めていくと同時に、小・中学校のみの「つなぐ」ではなく、保育所・幼稚園、高等学校、子育て支援等との連携を検討していきたいと思えます。



家族と一緒に「メディアコントロール」

「いしかわのじかん」宣言



い え^{どく}読のじかん (読書^{どくしよ}をしよう)

し ず^{しゅうちゅう}かなじかん (集中しよう)

か ぞ^{きょうりょく}くのじかん (協力しよう)

わ た^{がくりょく}しのじかん (学力アップ!)

家族の協力のもと、テレビを消し、ゲームやメール、SNSなどを行わない時間を設定し、読書や家庭学習、家族団らんの時間を生み出す取り組み

取り組み内容

1 家族で相談して「いしかわのじかん」を決めましょう。

- (例) ・月・水・金の週3回、午後7時から9時まで
・毎日、午後8時から9時まで
・毎日、1時間程度 (時間は日によって変更)

2 具体的な取り組み内容を決めましょう。

- (例) ・月曜日は読書の日、その他の日は家庭学習の日
・毎日、30分は読書の時間、30分は家庭学習の時間
・毎日、30分は復習の時間 (ワーク)、30分は予習の時間 (教科書)

3 家族が協力する内容を決めましょう。

- (例) ・テレビを見ないようにする。
・ゲームやパソコンなどを使用しないようにする。
・携帯電話やスマートフォンなどを使用しないようにする。
・一緒に読書をしたり、課題を見てあげるようにする。

4 取り組んだ内容を毎日記録させましょう。

- (例) ・「生活記録ノート」に「いしかわのじかん」と内容を記録する。
⇒ 4/10 いしかわT19:00~21:00 (読書+復習)

5 取り組み内容を学年によって少しずつ増やしましょう。

- (例) ・小学校低学年は、30分程度。
・小学校中学年は、30分から1時間程度。
・小学校高学年から中学生は、1~2時間程度。

子どもたちのこれからのために、「メディアコントロール」を意識させ、望ましい生活習慣と学習習慣をしっかりと身につけさせましょう。学校と家庭が一体となって、子どもたちの明るい未来をつくりましょう。ご協力をよろしくお願いします。



石川町の学習



『学び合い』による 「全員がわかる・全員ができる」 授業の創造

現在、石川町では、町内の小・中学校4校で『学び合い』の授業を実践しています。『学び合い』は、石川町教育アドバイザーである上越教育大学教職大学院教授の「水落芳明先生」が提唱している次のような授業の考え方です。

- ・ 授業は、「全員がわかる・全員ができる」ことを目指します。
- ・ 個人の能力を生かし、学級全員で学習に取り組みます。
- ・ 「目標と学習と評価の一体化」を基本として、授業の学習課題(めあて)を全員が理解して、友人と協力しながら、学習課題(めあて)達成に向けて学習を進めます。
- ・ お互いの学習の様子を確認し、友人と進んで助け合い、教え合い、関わり合いながら学習を進めます。

実際の授業では、本時の学習課題を全体で確認した後、児童生徒がお互いの考えを交流する時間を通して、課題を解決します。

■ 『学び合い』の基本的な授業イメージ ■



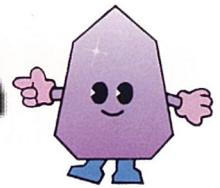
※学年・教科・単元・題材等により上と異なる授業スタイルもあります。

保護者の皆様へのお願い

子どもの夢をかなえるために必要な学力(生きる力)の向上を図るためには、学校での授業の充実とともに、家庭学習の習慣化が必要です。石川町 PTA 連絡協議会「いしかわのじかん」宣言へのご理解とご協力をお願いいたします。



学習の手引き



学校での学習(授業)の目的



学校での学習(授業)は、みなさんの今、そして将来のために必要な「生きる力」を身につけるために行われます。具体的には、物事を理解したり、問題を解決したりするために必要な学力、生きる上で基本となる健康・体力・豊かな人間性をはぐくむことを目的として、各教科、道徳、特別活動などの授業が行われます。

授業では、先生からの質問や指示にそって学習したり、みなさんがお互いの考えや意見を交流しながら課題を解決する『学び合い』を通して学習します。



学校での学習(授業)のポイント



- ①「全員がわかる」、「全員ができる」ことを目標に授業に取り組みましよう。
- ②今日の学習の目標・課題・めあてと学習の方法を理解しましょう。「何をどのように学ぶのか」
- ③自分の考えを表現して、お互いに理解できるように取り組みましよう。
- ④友人とつながって学習できることを楽しみましよう。
- ⑤自分の成長が見えるように学習に取り組みましよう。「何がわかったのか」、「何ができるようになったのか」がいえるようにしましよう。



家庭学習のすすめ



家庭学習の目的



みなさんの将来の夢をかなえるためには、学力を身につけることが大切です。そのためには、学校の授業での学習内容を、家庭学習で確実に定着させる「復習」が必要です。また、授業の準備としての「予習」を行うことで、授業内容が理解しやすくなります。

「予習⇒授業⇒復習」のながれを、毎日確実に継続していくことで、学力を高めていきましょう。



家庭学習のポイント



- ① 落ち着いて学習できる場所をきめましょう。
- ② 学習する時間、教科、内容をきめましょう。
- ③ 「～しながら」の学習はやめましょう。
- ④ 学校の宿題を最初に行いましょう。
- ⑤ 家庭学習ノートを用意し、授業の内容をまとめたり、問題を解いたりしながら、自分のノートをつくりましょう。

※家庭学習時間のめやす

- ・ 小学校 1～2 年は、30 分くらい
- ・ 小学校 3～4 年は、30 分から 1 時間くらい
- ・ 小学校 5～6 年から中学生は、1～2 時間くらい

